

小平市長 小林正則

**市長のこころ**

**インフルが我が家にも：**  
生まれて初めてインフルエンザに感染。健康が売りの私が、朝起きたら、体が動かない、熱は39度。妻の素早い対応で、寝癖頭とパジャマ姿で近所の診療所へ。受験生がいるので、なんとか私で食い止めたかったのだろう。

だが、一週間に三人が感染し、我が家はさながら野戦病院だった。久々のくず湯で息を吹き返し、かゆ、通常食と、全員独居房から解放された。家族のありがたみが骨身にしみた。妻が天女のように輝いて見えた。



## ふるさと村 3月の行事と催し

### ◆郷土学習 ゆでまんじゅう作り

小平の郷土食ゆでまんじゅう作りを体験できます。

とき 3月3日(日) ①午前10時10分～午後0時10分、②午後1時30分～3時30分

費用 1組4百円

対象 ①小学生の親子、②中学生以上の方

定員 ①10組、②10人

申込み 2月20日(水)の午前10時から、小平ふるさと村へ(電話可、先着順) ☎042(345)8155



### ◆紙芝居を楽しもう

子どもから大人まで楽しめます。

とき 3月16日(土) 午後2時30分～3時30分

主催 小平紙芝居サークルともしび、小平市文化振興財団

申込み 当日、会場へ

### ◆春の和楽器演奏会

とき 3月17日(日) 午後1時30分～2時30分 1時開場

定員 約50人 出演 小平第六中学校箏曲部

申込み 当日、会場へ

### ◆ふるさと村寄席

とき 3月21日(木・祝) 午後2時～3時 1時30分開場

定員 50人 出演 柳亭こみちほか 申込み 当日、会場へ

問合せ 小平ふるさと村 ☎042(345)8155

### ◆小平糧うどん

営業日 3月2日～31日の土曜・日曜日

※3月3日・17日を除く。

※団体予約(10人～30人で日曜日のみ)の利用は午後1時30分以降になります。利用日の10日前までに問合せ先へ申し込んでください。

問合せ 武蔵野手打ちうどん保存普及会・江連 ☎042(343)5153

## 最新版 ごみ分別アプリを配信

新しいごみ分別アプリを配信しています。このアプリでは、ごみの収集日、ごみに関するさまざまな情報、イベントなどを簡単に確認することができます。ぜひご利用ください。



ごみ収集カレンダー  
ごみ分別辞典  
ごみの出し方 ほか  
便利な機能が満載です



Android端末用  
QRコード



iOS端末用  
QRコード

アプリの入手(インストール)はこちらから

※「小平トピックス」内のごみ分別アプリは、3月で終了します。

※インストール料金は無料、通信費は利用者の負担となります。

☎検索 小平市 ごみ分別アプリ 問合せ 資源循環課 ☎042(346)9535

# 小平市 平櫛田中彫刻美術館

## 企画展示 平櫛田中と収集

### ◆新収蔵作品初公開

平成29年に平櫛田中作の大型木彫作品「浮彫天部像」(4幅一組)が美術館へ寄贈されました。この作品は、平櫛田中の美術品収集を支えた古美術店「不言堂」の創業者坂本五郎さんとのゆかりの作品です。

平櫛田中は美術骨董をはじめ、同時代の作家の作品まで幅広い美術品の収集を楽しみました。展覧会では、平櫛田中の収集活動をテーマに、平櫛田中コレクションを紹介し、3月18日(月)までは、田中が娘のために制作した内裏びなをはじめ、田中が集めたひな人形を展示します。

とき 2月27日(水)～5月19日(日)

午前10時～午後4時

※なるべく午後3時30分までに入館してください。



平櫛田中作 内裏びな(昭和10年ごろ)

## 春の庭園を楽しみながら お弁当を味わってみませんか

美術館庭園は梅の美しい季節を迎えます。春の庭園を楽しみながら平櫛田中弁当を味わってみませんか。期間中、平櫛田中弁当を美術館でお受け取りの方に限り、記念館和室で食べることができます。

※お弁当は、前日までにまるやす商店(☎0120(970)081)へ予約注文が必要です。受け取り場所を平櫛田中彫刻美術館に指定してください。

とき 2月27日(水)～3月18日(月) 午前11時～午後2時

※観覧料がかかります。美術館の都合により中止することがあります。

協力 株式会社まるやす商店



－共通－

休館日 火曜日(祝日に当たる場合は、その翌日)

※5月20日(月)は、展示替えのため休館します。

観覧料 一般…300円(220円)、小・中学生…150円(110円)

※カッコ内は、団体20人以上です。

※駐車場をご利用の方はご相談ください。

問合せ 平櫛田中彫刻美術館 ☎042(341)0098

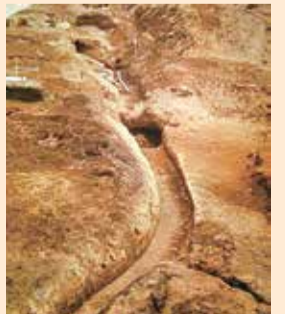
## 東京150年関連事業 文化財特別展

### 鈴木遺跡と江戸東京

鈴木遺跡は、後期旧石器時代(1万5000年～3万数千年前)の遺跡で、現在、国の指定史跡化を目指している重要な遺跡です。

しかし、鈴木遺跡発見のきっかけが、昭和49年に行われた江戸時代後期から明治時代に稼働していた水車関連の遺構だったということはあまり知られていません。

発掘調査後の文献調査から、見つかった水車の跡が、幕末に外国との戦争に備えて作られたお台場の大砲に使用する火薬を作っていたことがわかりました。また、平成26年に行われた発掘では、市内でも珍しい江戸時代の水田の跡が発見されました。このように、鈴木遺跡では江戸時代以降の小平の人々の暮らしを知る貴重な発見もありました。



見つかった水車の跡

特別展では、鈴木遺跡発掘のきっかけとなった水車や、水田の跡の解説をします。また、発掘調査で発見された江戸時代の薬容器や、昭和初期の納税完納賞と書かれた茶碗など、当時の人々の暮らしを知る貴重な資料も展示します。

鈴木遺跡国指定史跡化事業で明らかになった最新の調査成果も随時展示します。

とき 2月20日～5月22日の水曜・土曜・日曜日、祝日 午前10時～午後4時

ところ 鈴木遺跡資料館 問合せ 文化スポーツ課 ☎042(346)9501